

一般社団法人 とだわらび青年会議所 2024年度

みんなでHappy拡大委員会 基本方針

みんなでHappy拡大委員会

委員長 菅野有希

背景・課題	<p>1) 私達のとだわらび青年会議所は40歳で卒業を迎えるという制度があり、毎年の入会者が減少していけば活動の幅を狭めてしまい、会の存続も危ぶまれる。</p> <p>2) 2020年以降、社会活動において非対面という選択肢は一般的となった。対面交流の活動が減少し便利にはなったが、些細なコミュニケーションの機会が減少しJC活動に当事者意識を持ちにくい状況である。</p> <p>3) 近年先輩諸兄姉との交流例会がなくなり、先輩諸兄姉の知恵や経験に触れる機会が減っている。有力な会員候補の紹介を受けにくい状況である。</p>	
活動概要	<p>1) 現役メンバーが「会員を増やしたい」と思えるような動機を創り出す。</p> <p>2) 拡大会議を行い、会員拡大への当事者意識を高め、会員拡大のイメージアップを行う。</p> <p>3) とだわらび青年会議所の歴史を作る一員としての当事者意識を持ち先輩諸兄姉と交流を促す。相互に価値のある交流を深めながら会員拡大へつなげる。</p>	
年間を通しての目標	<p>現役メンバー全員から会員候補者の紹介を得る事。 15名の会員拡大を行う事。</p>	
成果目標	KGI または CSF	<ul style="list-style-type: none"> ・会員を15名拡大する
	KPI または KFS	<ul style="list-style-type: none"> ・現役メンバーより毎月2名以上のオブザーバーの紹介を得る ・8月までに会員数35名を目標として拡大活動を行う ・毎月5名以上の先輩諸兄姉訪問を行う ・先輩諸兄姉より年間3名以上のオブザーバー紹介を得る
政 策	<p>1) 現役メンバーが「会員を増やしたい」と思えるような動機を創り出す。</p> <p>目的：会員拡大の必要性を理解し、現役メンバーが当事者意識をもって動けるようにする。</p> <p>行動：メンバー間の積極的な関わり合いを作り、一人一人の会員が居たから成し得た経験や思い出に焦点を当てる。拡大成功者は表彰を行い、ゲーム感覚で楽しんでもらう。</p> <p>結果：メンバー相互に興味をもち、活動が活性化され楽しくなる。</p> <p>会員拡大の動機付けの基盤ができる。</p> <p>継続：今後の会員減少による影響を熟知し、会員拡大の必要性を見出しやすくする。</p> <p>2) 拡大会議を行いメンバー全員に会員拡大の機会を与える。</p> <p>目的：メンバー全員が拡大活動に参加してもらう。</p> <p>行動：対面による拡大会議を開き、成功事例や拡大対象者の情報をメンバーへ伝える。</p> <p>結果：効率的で楽しい会員拡大の方法や青年会議所の魅力を知る機会を得る。</p> <p>継続：全員が拡大活動を行い、個人の負担が分散することで会員拡大のハードルを下げる。</p> <p>3) 先輩諸兄姉が会員拡大の手を差し伸べやすい状況を作る。</p> <p>目的：先輩諸兄姉とのコミュニケーションを取り会員拡大を円滑化させる。</p> <p>行動：先輩諸兄姉訪問、例会への参加の声かけ、例会事業の事前告知などの情報発信をする。</p> <p>結果：現役と先輩諸兄姉の連携を強化し、ご子息や仕事関係者などを紹介してもらう。</p> <p>継続：年間のスケジュールに沿った関わり合いを計画する。</p>	